

宮地病院 診療担当医師一覧表

	午前診 受付8:30~11:30 診察9:00~12:00					午後診		夜間診 受付17:00~19:00 診察17:30~19:00		研修日	
	内科	整形外科	総合診療科	もの忘れ外来 ・心療内科	もの忘れ 外来	検査	糖尿病 外来	もの忘れ外来 ・心療内科	内科		整形外科
月	宮地 高橋(宏) 金澤	美馬		根布		内視鏡：濱田 都築		根布 14:00~16:30	金澤	三輪(第1・3・5週) 豊田(第2・4週)	
火	宮地 9:00~16:00 濱田	下野	嵯峨山	根布				根布 14:00~16:30			高橋(宏)
水	宮地 金澤 高橋(宏) 都築	藤本		根布 小林	原 9:30~12:30 完全予約			根布 14:00~16:30			濱田 美馬
木	濱田 都築	下野	嵯峨山	岡崎			福岡 14:00~17:00 完全予約				金澤
金	高橋(宏) 濱田 都築 高橋(弥)	美馬		小林		内視鏡：宮地 金澤 大腸カメラ：濱田(午後のみ) 都築(午後のみ)			濱田	美馬	嵯峨山
土	金澤 久野	美馬	嵯峨山								

・午前の診察は予約の方優先です。・宮地(火曜日)は完全予約となります。◎無料医療相談 毎土 9:00~12:00 高橋・濱田

本山リハビリテーション病院
診療担当医師一覧表

◎当院は完全予約制となっております。
◎入院相談、退院後フォローも実施しております。
◎診察時間 9:00~12:00

	ボトックス TMS外来
月	
火	
水	
木	
金	
土	月1回 山田 9:00~16:00

宮地病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、いつでも、どこでも、どなたにも心のもった医療、温かい介護を提供することを目指します。

本山リハビリテーション病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、心のもったリハビリテーション医療・ケアの提供により、いきいきとした生活を送ることができるよう支援します。

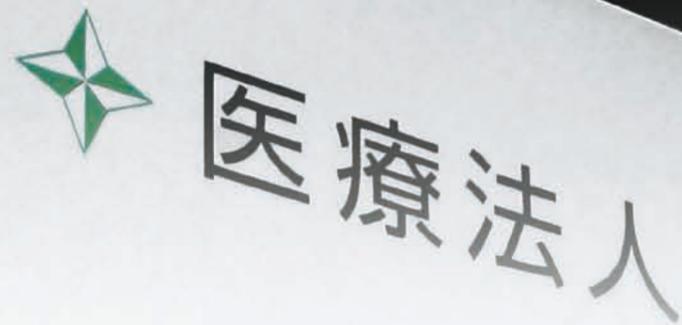
患者さまの権利

- 患者様は、人間としての尊厳が尊重され、安全で良質な医療を平等に受ける権利を持っています。
- 患者様は、受ける医療について十分な説明を受け、よく理解した上で自らの意思で医療の方法を選択する権利を持っています。
- 患者様は、自分の診療記録の開示ならびにほかの医療者の意見を求める権利を持っています。
- 患者様は、個人情報の秘密が保護される権利を持っています。
- 患者様は、他の患者様や職員による医療提供に支障を与えないよう配慮し、療養に専念する義務があります。
- 患者様は、安全で良質な医療を実現するために自己の健康に関する情報を正確に提供する義務があります。



医療法人明倫会 宮地病院
住所/〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4-1-8
TEL/078-451-1221 FAX/078-431-0080
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/>
eメール/miyaji-hp@ksn.biglobe.ne.jp

本山リハビリテーション病院
住所/〒658-0015 神戸市東灘区本山南町7-7-15
TEL/078-412-8080 FAX/078-412-8787
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/motoyama/>
eメール/motoyama-reha.hp@meirinkai.or.jp



2019. 4.27 vol.65

KAKE
HASHI
明倫会ニュース

2019年度経営指針発表

猪ノベーション

今年度の私たちの行動スローガンは「猪ノベーション!」です。現状を打破し新しいことに猪突猛進するという心です。

2019年の重点課題は以下の通りです。

- (1)引き続きNOと言わない迅速な対応を心がけます。
- (2)認知症疾患医療センター、物忘れ外来で認知症の予防、診断、治療に重点化、重度認知症デイケアで認知症のケアと家族の支援に注力します。
- (3)急性期～維持期、若年者～高齢者・障害者、入院～在宅まで地域で最も信頼されるリハビリ施設を目指します。
- (4)連携の強化により医療・ケアから生活支援、施設から住まいまで、地域で「その人らしく生きる」を支えます。サービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」がその拠点となるよう住民、他企業と協働します。
- (5)地域で共通の価値を創造し、自分たちの持てる力を活かし地域の課題を解決していきたいと思えます。さらに地域の住民、他業種の方々とコラボし地域の活性化、街づくりに貢献したいと考えています。



認知症疾患医療センター

2018年10月より神戸市の指定を受け開設された、認知症疾患医療センターは、平成最後の年に初めての春を迎えることとなりました。センターでは、医療・保険・介護等に関する機関と有機的に連携し、認知症に関する相談、鑑別診断と初期対応、周辺症状(BPSD)や合併症への対応、研修会開催等を行う認知症専門の医療機関として地域の認知症対策を担っております。

神戸市では全国初の認知症対策「神戸モデル」が始まりました。このうち「診断助成制度」(2019年1月

28日開始)として、認知症の早期診断・早期受診を推進する為、65歳以上の市民を対象とした2段階方式による制度を創設。認知機能検診(第1段階)では認知症の疑いの有無を診断。認知機能精密検査(第2段階)では認知症かどうかと、病名を診断。いずれも自己負担のない仕組み。宮地病院は第1・第2段階両方の実施医療機関です。さらに「事故救済制度」(2019年4月1日開始)として、認知症の方が起こした事故への救済制度が創設されました。

これらをはじめ認知症施策は多岐に渡る為、地域の皆さまが気軽に、分かり易く情報を得ることが大切であると考えます。認知症の方やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、認知症の進行予防や地域生活の維持に必要な医療を提供していくことが求められております。

お問い合わせやご相談は、センター直通電話番号【078-411-8688】までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

潮騒の家2月15日OPEN!

神戸市東灘区の青木3丁目にサービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」を2019年2月15日にOPENいたしました。

サービス付き高齢者向け住宅とは高齢者が安心して暮らすことを目的とした賃貸住宅です。この住宅には状況把握サービス(見守り)と生活相談サービスが必ずついており、潮騒の家ではこれに加えて食事提供サービスも実施しています。



瀬戸内海の穏やかな海に面し、六甲山系の山々の緑が望める場所にあり、ご入居される方が「そのひ

とらしく生きる」ことを支援して参ります。宮地病院が救急対応、訪問診療でフォローを行い、ご入居される方が安心して暮らすことを目的とした賃貸住宅になります。

ご興味ある方がおられましたら、宮地病院(078-451-1221)までご連絡ください。



新入職員研修



今年入職した新人

2019年度はリハビリ16名、診療情報管理士2名、事務1名、保育士1名の合計20名のフレッシュな社員が入職しました。研修期間は3月25日からの1週間で、明倫会の理念・経営から院内の制度や取組み、医療や安全等にかかる講義、また接遇や電話対応等幅広い内容となりました。研修日最後のワークショップでは、各人が新人らしく元気にお互いの意見をしっかりと交換しあう様子もうかがえました。新入職員にはこの場で出会えた仲間を大切に、そしてともに研鑽し、それぞれの役割を果たし、これからの明倫会を支える人財となることを期待しています。

新看護部長紹介

中川 裕美子

2019年4月より新看護部長として中川が就任致しました。

①これまでの略歴や看護師経験

1980年に兵庫県立加古川病院に新卒看護師として就職し、主に外科病棟で勤務しました。1992年に看護師長となり外科・内科・整形外科等の病棟や外来で勤務をしました。また2004年には、看護部次長として兵庫県立姫路循環器病センターに転勤し、3年後に兵庫県立加古川医療センターの新築移転の準備にたずさわりました。2009年からは、看護部長(その後副院長兼看護部長)として兵庫県立光風病院、兵庫県立柏原病院で病棟開設や赤十字病院との統合新築移転の準備を行い、2018年から兵庫県立がんセンターで勤務をし退職しました。

②当院に対する印象

高齢化率の伸展と認知症高齢者の増加から地域包括ケアが推進されている中で、医療法人明倫会の「『その人らしく生きる』を支える」というビジョンのもとで、職員が地域の人々のニーズにこたえられるようにチー

ム医療を展開していると感じています。職種間のコミュニケーションも良好で、患者様の持てる機能の回復を促すとともに、その人らしい生き方の支援ができており、地域医療に大きく貢献していると思います。



③今後の意気込み

病院と高齢者施設があり、理想的な医療と療養の環境が整っている強みを生かして、職種間の連携をさらに強化し地域の患者様のその人らしい暮らしへの支援ができるよう努めていきたいと思っています。

④休日の過ごし方や趣味

休日は、数年前から始めた家庭菜園を隣の畑でしています。家庭菜園はなかなか奥が深く、市場で販売されているようないい野菜はできませんが、土にふれることで気分転換ができ、日々の野菜の成長を楽しんでいます。春になり温かくなってきたので、雑草との戦いになってきました。

健康レシピ

文:宮地病院 管理栄養士 大久保峰代

カルシウムを意識して摂っていますか?

骨粗鬆症の予防には骨の成分であるカルシウムを摂ることが第一ですが、食品に含まれるカルシウムの吸収率は5~40%で、食品や年齢、性別などによって変動します。カルシウムの多い食品を一度に沢山食べても吸収できるカルシウム量は限られているので毎日の食事から継続的に摂ることが重要です。

カルシウムの働きを助けるマグネシウムを同時に摂ること、カルシウムの吸収を補助するたんぱく質、ビタミンD、ビタミンKを摂ることも大切です。代表的な食品をご紹介します。また、適度な運動も骨を丈夫にするためには欠かせません。

- ・カルシウムが多い食品:牛乳・乳製品、小魚、大豆製品、青菜など
- ・マグネシウムが多い食品:海藻などの乾物(干しひじき・乾燥わかめ)、大豆製品、ナッツなど
- ・たんぱく質が多い食品:肉、魚、卵、豆類、乳製品など
- ・ビタミンDが多い食品:魚、乾燥きのこ類(キクラゲ・干し椎茸)など
- ・ビタミンKが多い食品:納豆、緑黄色野菜、海藻など

今回は春が旬の春キャベツとカルシウムの吸収率が高い牛乳を使用した具沢山スープをご紹介します。是非一度お試しください。



春キャベツのミルク煮(4人分)

★作り方★

- ①春キャベツは一口大にカット、舞茸も一口大にカット、玉葱はスライス、人参はイチョウ切りにする。
- ②鍋にバターを入れて中火で熱し、玉葱、人参、春キャベツ、舞茸、水煮豆の順に加えて炒める。
- ③水を入れて軟らかくなるまで煮る。
- ④コンソメ、あさりの水煮(汁ごと)、牛乳を加える。煮立ったら、塩コショウで味を調える。
- ⑤器に盛り、パセリをふりかければ、完成。

ドクターアドバイス

その人らしく生きる

日本リハビリテーション医学会では、リハビリテーション医学について「機能回復」・「障害克服」・「活動を育む」の3つのキーワードを、2017年から挙げています。また、世界保健機関(WHO)では、「健康の構成要素に関する分類」に関して、

「心身機能」・「活動」・「参加」に分類し、背景として「環境因子」・「個人因子」を挙げています。日本、そして世界的に、病気の治療だけでなく、その人がその人らしい生活を送ることが大切であると考えられるようになってきています。明倫会でも「そ

その人らしく生きる」ことを支えることが大事と考えております。

その人らしい生活、そして「その人らしく生きる」ことのサポートができるよう、努めて参りたいと思います。

本山リハビリテーション病院
リハビリテーション科
佐藤友治



材料 (4人分)	・春キャベツ	200g	・舞茸	100g	・固形コンソメ	1個
	・水煮豆(ミックスビーンズ)	100g	・あさりの水煮	1缶(125g)	・牛乳	400cc
	・玉葱	150g	・バター	15g	・塩・コショウ	少々
	・人参	150g	・水	200cc	・パセリ	少々